

『第23回アビリンピック福井大会2025』が開催されました。

令和7年6月28日(土)、7月5日(土)にポリテクセンター福井と福井県立福井産業技術専門学院において、第23回アビリンピック福井大会2025(福井県障害者技能競技大会)が開催されました。本大会では、参加選手は22名で、選手の皆さんは練習の成果を出そうと、真剣なまなざしで、一生懸命競技に取り組んでいました。

1. 競技種目、参加選手数

競技種目	選手数
ワード・プロセッサ	1名
表計算	2名
喫茶サービス	3名
ビルクリーニング(総合コース)	5名
ビルクリーニング(初級コース)	3名
オフィスアシスタント	7名
機械CAD	1名
合計	22名

はぴりゅうが、入賞者のお祝いに駆けつけました！



入賞者(ビルクリーニング初級)による記念撮影

金賞6名、銀賞5名、銅賞5名、努力賞2名の方が入賞されました。おめでとうございます！
入賞者の方々には、賞状及び金・銀・銅・努力賞のメダルが贈られました。

2. 競技風景

ワード・プロセッサ



マイクロソフトWordを使用し、文字入力や図表の挿入などを行う競技です。難しい課題もありましたが、出場選手は真摯な態度で一心に課題に取り組んでいました。

表計算



マイクロソフトExcelを使用し、数値データ等の処理や、表、グラフ作成技能等を競う競技です。出場選手は競技時間を効率的に使い、集中して課題に取り組んでいました。

ビルクリーニング



ビルクリーニングの基本動作(床、机を拭く、掃く、ごみの処理など)を競う競技です。出場選手は日頃の練習の成果を発揮するため、真剣に取り組んでいました。

喫茶サービス



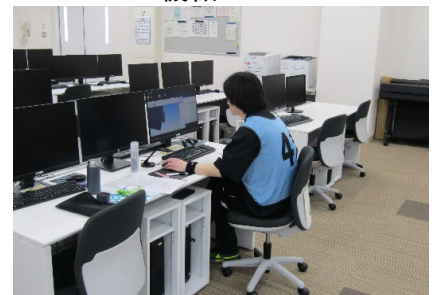
模擬喫茶店でお客様にスムーズにサービスを提供する競技です。出場選手は落ち着いて接客していました。日頃の努力が見られ、お客様も満足されていました。

オフィスアシスタント



職場での文書類の発送までの準備作業における速さと正確さを競う競技です。皆さん集中して根気強く最後まで取り組んでいました。それぞれのペースで丁寧さも維持しながら取り組めていました。

機械CAD



3次元CADツールを使用して、図面を正確かつ素早く作成することを競う競技です。出場選手は最後まで集中力を切らず真剣に取り組んでおり、日頃の成果を発揮していました。

3. 参加者アンケート結果より

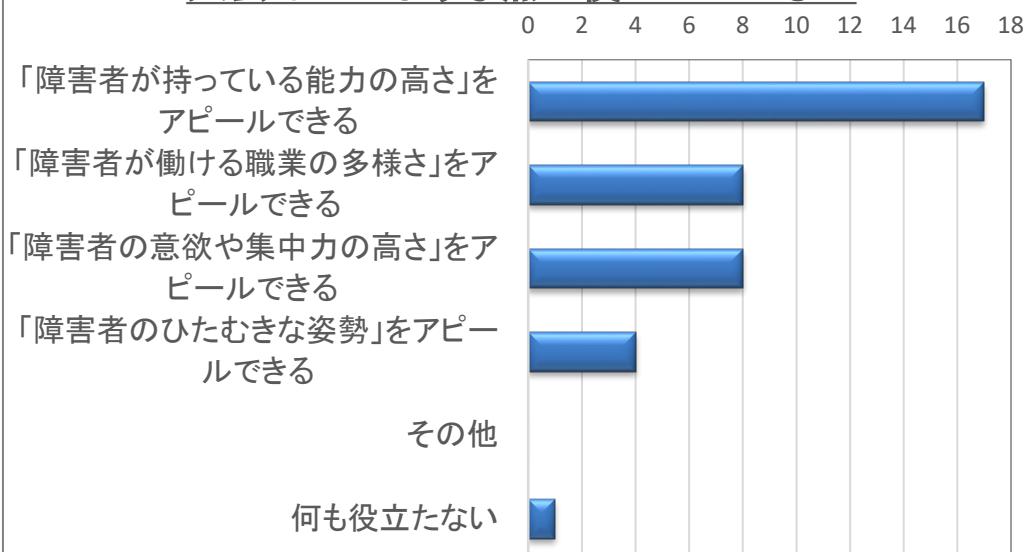
●選手の回答

(選手回答)

大会に参加した感想は

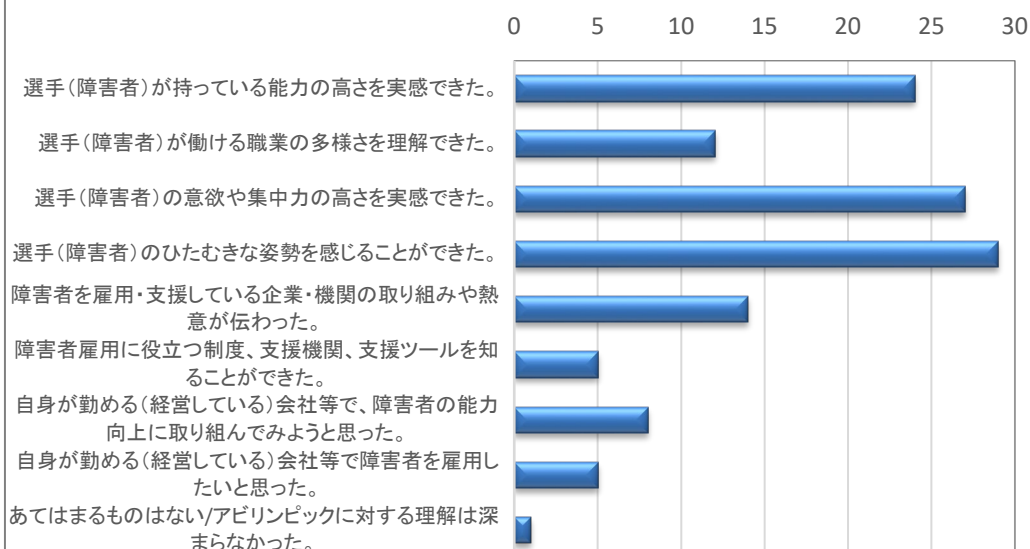


大会はどのような点で役立っているか



●一般来場者の回答

アビリンピック福井で感じたことは



アビリンピックの感想

・もっと障害者の雇用につながる機会が増えるといいと思う。

・大会があることで、本人の日頃の作業(学校での)のモチベーションがすぐ上がるので、これからも大会を続けてほしいと思います。

・よく練習しているなと感じました。緊張しただろうと思いますが練習の成果が出たと思います。